

# プロフィール

長野 享司

(衣笠三省塾 塾主)



---

1953年(昭和28年) 京都市北区生まれ。

1972年(昭和47年) 衣笠三省塾に入塾。  
衣笠三省塾で当時の京都市会議員先生に  
10年間論語、孟子、日本外史など漢籍を学ぶ。

1976年(昭和51年) 大学卒業後、会社員生活を経て、  
2005年(平成17年) 衣笠三省塾を再興。

現在、衣笠三省塾の他に、亀岡梅岩こころ塾、心学修正舎会輔にて講師を務める。

## 認定推薦文

松尾 様

松尾さんの心学修正舎のお仕事の外に 広く「生き生きした」社会の為の多彩な御活動に 敬意を表します。本当にご苦労様です。松尾さんの社会の一隅で 社会貢献されている人を折々に 紹介されておられるのも素晴らしい視点だと思います。

是非我らの同志「長野享司」さんも 社会の一隅で 最澄伝教大師の「一燈照隅（万燈照国）」に志す人として取り上げて頂けたら幸いと 推薦申し上げる次第です。

長野さんは 江戸時代創業の老舗呉服店・千切屋を 50 歳を期に会社務めを辞め、自らの生きる目標を 利潤追求の生活視点から 世相の道德倫理観の低下を憂いて一念発起され、道德倫理再生の為の社会貢献的活動に転身され、学生時代から親しく学ばれた「孔孟の儒学」の知見を基に日本伝統精神の中核の一つである「漢籍・東洋古典」の塾・衣笠三省塾を始められた方です。

又 一方では社会に役立つ人作りをモットーにする、四国に生まれた「宗道臣」の少林寺拳法の修行にも親しまれ、特に広く児童から若い人の精神と身体鍛錬の場として「京都衣笠道院」も開かれ、小中学校にも出かけて青少年の健全な成長に寄与されています。

いわば心・精神と身体の両面の鍛錬指導に心掛けておられ、自らも「真に徳性の優れた指導者」の道を実践されているとも思います。

何卒宜しくお取り上げ頂きたくお願い申し上げます。

(元・心学修正舎理事、元・心学参前舎常務理事、元・石門心学会理事)

後藤一成